

# 公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会 令和4年度 事業報告

## 第I 概要

令和2年2月に県内で最初の感染者が確認された新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）については、令和4年度を迎えても引き続き流行は繰り返され、8月には過去最高の1日当たり1万5千人を超える新規感染者が確認されました。しかし、比較的病原性の低いオミクロン株が主流になったことやワクチン開発が進んだことなどで重症化率や致死率は下がり、社会経済活動に対する規制は徐々に緩和されてきました。

有効求人倍率の変化をみても令和5年2月まで連続して上昇し、3月現在でも1.3倍となっており、宿泊・飲食業、小売業などで人手不足感が高まっています。

次に、シルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）について考えたとき、まず、取り上げなくてはならないのは、事業運営に大きな影響を与える消費税のインボイス制度実施に関する問題です。これにつきましては、シルバー人材センター（以下「センター」という。）、各都道府県シルバー人材センター連合、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という。）で連携して特例措置のための草の根運動を展開しましたが、実現には至らず本年10月から予定どおりインボイス制度は実施されることになりました。

このインボイス制度の実施にも関連する問題として昨年、厚生労働省から提案のあった問題が、フリーランス新法の国会提出を踏まえ検討された請負・委任等の契約方法の見直しに係る提案であり、全国のセンターや連合から提出された意見に基づき、制度の再設計が厚生労働省において行われています。

このような事業をめぐる大きな環境の変化の中で、会員数の状況をみると70歳までの雇用の努力義務化等を受け、高齢者の雇用率は年々上昇していますが、福岡県内の会員数は、平成21年度をピークに減少傾向にあり、ここ10年でおよそ15%減となっています。しかしながら、令和4年度は、各センターの真摯な取組の結果、新規会員数は前年度に比べて約13%増の3,486人、一方退会者数は約9%減の3,370人となり、4年ぶりに116人（0.5%）の増加となりました。

以下に、会員、センター及び公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会（以下「連合会」という。）が力を合わせて取り組んだ主な事業を次のとおり報告いたします。

- ・ 普及啓発事業については、連合会ホームページでセンターの活動状況を紹介した。また、生活情報誌等の女性が目にする機会の多い媒体で女性会員の活動状況を紹介した。
- ・ 国から高齢者活躍人材確保育成事業を受託し、就業体験や技能講習、テレビでの広報などを行った。
- ・ 女性会員（シルボンヌ）拡大のために女性事務局職員による委員会を設置し、女性会員拡大、女性活躍推進に関する取組の検討を行った。また、1月には、福岡市でシルボンヌ福岡県大会（子育て・福祉・家事援助サービス会員研修を兼ねる）を開催し、女性会員の活躍促進等の活動を行った。
- ・ 安全・適正就業に関しては、安全パトロール、安全就業促進大会の実施のほか、剪定作業中の会員の重篤事故の発生を受け、チェーンソー研修会を2月に開催した。

- ・ 指導相談事業に関しては、16センターへの指導相談の実施のほか、役職員研修会、理事長研修会、職員向け研修（会員拡大、請負・委任、派遣、子育て・福祉家事援助サービス）を実施するとともに、十数年ぶりに女性会員リーダー研修会を実施した。

以上、概要ですが、これらの事業運営に当たっては、福岡労働局職業安定部及び福岡県福祉労働部労働局の指導を得ながら実施するとともに、全シ協と緊密な連携を図りながら、事業の推進に努めました。

## 第Ⅱ 事業

- 一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係わる就業機会の確保や社会参加活動のための支援（公益目的事業）

### [就業開拓提供等事業]

連合会は、高齢者の希望や体力・能力に応じ「請負・委任」による就業を県内全域で一体的に推進し組織的に提供するため、センターと強固な連携のもと、協力して地方公共団体、地域の企業、家庭等をサポートする多種多様な仕事について就業開拓に取り組むこととし、活動支援を行った。

#### (1) 受託事業（一般）

雇用によらない請負又は委任による就業の支援については、関係法令に基づき、高齢者の就業の場として相応しい「臨時的かつ短期的」又は「その他軽易な業務」に係わる就業の機会を確保するため、新たな事業の創出や仕事の開拓を行い、受注の促進を図った。

#### 「主な就業分野」

屋外作業（剪定、草刈り、草取り、屋外清掃、空き家・墓地管理等）

屋内作業（屋内清掃、施設・駐輪（駐車）場管理、福祉・家事援助サービス、子育て支援、商品梱包作業、環境リサイクル業等）

#### ① 広域需給調整

高齢化の進展と共に地域ニーズや発注者ニーズも多様化し広域的な需給調整の必要が生じている。しかしながら、各センターの作業単価及び作業環境もそれぞれに違うなど、広域受注には諸々の問題がある。派遣では広域受注を行っている職種もあり、請負においても部分的には県内のセンターが対応できる体制を支援した。

#### ② 未設置地域の解消

福岡県及び近隣センターの協力を得て、未設置町村に対し各地域の高齢者が、いつでも、誰でも、どこでも、シルバー事業に参加できるようセンターの設置を促進した。

#### (2) 受託事業（業務委託）

国及び地方自治体の意向に沿って、一般競争入札等へ参加し、地域高齢者の就業の場の確保に努めるとともに、当該受託事業に関連した会員や地域と一体となつての活動及び子育て等を応援し、地域活性化に役立つ情報の収集及び提供を行った。

### (3) 独自事業

高齢者の就業機会の拡大を図るため、各センター独自の創意と工夫により、「臨時的就業かつ短期的な就業」又は「その他軽易な業務」に係わる地域独特の事業の創出による高齢者の生きがいの充実及び地域活性化に資する事業を支援した。

## 二 雇用による臨時的就業又はその他軽易な業務に係わる就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

県内の高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、高齢者の労働能力を活用した地域社会づくりを促進するため、シルバー派遣事業及び職業紹介事業等により提供した。

### (1) シルバー派遣事業

「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に基づき、実施センターと連携・協力して、派遣会員の円滑な就業の促進を図り、臨時的就業かつ短期的な就業又はその他軽易な業務の就業の範囲において、派遣労働を希望する高齢者の登録を推奨し、シルバー派遣事業を積極的に実施した。

### (2) 職業紹介事業

「臨時的就業かつ短期的な就業又はその他軽易な業務」に係わる求人・求職を受け、センターを通して就職を希望する高齢者に対して必要な情報の提供・相談・助言等を行い、職業紹介事業を実施した。

### (3) 雇用・就業の促進

民間企業、各種団体など的高齢者の雇用や就業についての情報を収集・提供し、高齢者の雇用及び就業の推進を図った。

## 三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するため、普及啓発事業等及び情報の提供、安全・適正就業事業、研修・講習事業、指導・助言等事業、調査研究事業を実施した。（公益目的事業）

### 1 普及啓発事業

センターの基本理念のもと事業の発展と拡充を目指し、センター会員の活動状況等を一般に幅広く広報し、シルバー事業が地域社会において更に理解が深まるよう、普及啓発活動を実施した。

#### (1) 広報活動

会員の増強や就業機会の拡大を図るため、県内全域の家庭、企業、公共団体等を対象とした、身近で気軽に利用し相談しやすいコーナーを設置し、その効果を上げるため全センター共通の広報用品を作成し配布した。

#### (2) 社会参加活動

連合会は、高齢者の多様な就業・社会参加ニーズに対応した総合的な就労支援センターとして、就業等に関する相談・情報等を収集・提供するとともに、センター会員によるサークル活動等を通してボランティア活動など地域に寄与、貢献する活動を活用した地域環境の整備、子育て支援、学童見守り等、地域に歓迎される活動

を促進し、高齢者の社会参加を支援した。

### (3) 地域交流活動

地域の活性化推進グループ等と連携し、地域行事や会議等へ積極的に参加し交流の輪を広げる活動を行った。

## 2 安全・適正就業推進事業

シルバー事業の就業について「安全は全てに優先する」との理念のもと安全・適正就業対策委員会による組織的な活動を行った。

安全就業の啓発を目的に委員による現場パトロールを実施、安全就業の徹底と安全意識徹底を指導・助言した。

適正就業は、ガバナンス（内部統制）及びコンプライアンス（法令遵守）の確立を目指し、高齢法で定める「臨時的かつ短期的」又は「その他軽易な業務」をローテーション就業によるワークシェアリング（仕事の分かち合い）で実施すること等を徹底するため、適正な就業について、研修会等を開催した。また、指導・相談業務等を通して就業の適正化に努めた。

## 3 指導・相談事業

### (1) 法令遵守の業務運営

地域のニーズ及び関係法令等に的確に対応した事業展開及び円滑に事業を実施するために適宜情報の収集・提供を行い指導・相談・助言を行うとともに、知識・企画力の向上を図るための支援を行った。

### (2) 適正な財産運用、専門家による助言・指導

公益事業活動の拡充に努め、地域社会の信頼を得るとともに、事業の拡張を図るため、保有する財産等の管理について、公認会計士及び連合会でセンター事業の経理・業務等全般について実地検査を行い、適正な経理処理及び運営上の諸課題等について適切な助言、指導を実施した。また、弁護士による法人運営やセンター業務の相談に関する助言、指導及び社会保険労務士による労務に関する助言、指導を行った。

### (3) 就業相談及び入会説明会への支援

地域高齢者及びセンター会員等の来訪、電話等による、就業及び入会等に関する相談の助言等を行った。

### (4) 各地域(ブロック)への情報の提供及び相談・指導

各ブロックでセンターが抱える事業運営上の課題や問題点等について連合会職員を派遣し、相談・助言及び指導等を行いシルバー事業の適正な運営を図った。

## 4 研修・講習等事業

シニア世代に対する社会環境の急激な変化に伴い、自立した運営の重要性の認識と人材の育成を目的とした研修会や講習会を開催した。また、様々な仕事に携われる会員の育成や多様化するシルバー事業に供する事業に対応するよう、高齢者の知恵と技を生かすセミナー、高齢者のサポート等に関する研修会等、センター役職員・会員及

び職員や一般高齢者を対象とした研修会を開催した。

(1) 技能講習等事業

一般の高齢者を対象に、雇用及び就業のための技術・技能の習得・向上を目指し講習を行った。

(2) 研修・講習事業

センター役職員や実務担当職員等を対象に運営上の諸課題及び適正な業務・会計処理等について理解と知識の付与を目的に研修・講習会を実施した。

また、福祉・家事援助サービス、子育て支援事業では、「福岡県生涯現役チャレンジセンター」と連携し、会員および一般高齢者が行う子育て支援について地域ニーズにマッチする研修会等を開催した。

- ・全シ協が行う研修会等へ参加した。
- ・九州ブロックシルバー人材センター連絡協議会が行う研修会等へ参加した。

## 5 調査研究事業

センターを取り巻く社会環境の変化にともない、高齢者の雇用・就業の状況や多様化する発注者ニーズ等の情報を収集しセンター事業の統計・分析に活かし、全国のシルバー事業の好事例等及び社会参加活動等に関する情報を収集し周知を図った。

また、公益社団法人としての運営上の諸課題、法人の維持及び公益事業等について調査研究を行った。

## 第Ⅲ 個別実施事業

### 1 普及啓発活動

#### (1) 広報活動

新聞・ラジオ・テレビ等のマスコミやインターネットを活用して、会員の入会促進、仕事の受注、会員活動、派遣事業、研修・講習等の情報を広く広報した。

##### ① 連合会事業活動の周知徹底を図った。

- ・機関誌「シルバー連合会ふくおか」48号の発行（3月）25,000部
- ・ホームページやインスタグラム等での情報提供

連合会ホームページ『各センターのイチオシ情報!』掲載によるセンター活動周知

- ・リーフレット、チラシ、啓発用品の作成・配布（9月）  
メモ帳80,000部、リーフレット25,000部
- ・オリジナルカレンダー5,500部の作成・配布（11月）

##### ② 入会促進やシルバー事業の充実強化のために広報活動等を実施した。

- ・全国シルバー人材センター事業普及啓発促進月間における広報活動の実施
- ・連合会長・センター理事長連名による支援要請の実施（12月）
- ・普及啓発月間におけるイベントの実施や集中的な広報の実施
- ・「臨・短・軽」のシルバーの特徴を生かした広報活動の実施
- ・センター入会等促進のためメディアやイベントを活用した広報活動の実施  
生活情報紙での記事広告 9月（北九州）、10月（久留米）
- ・女性や企業退職（予定）者層を意識した入会促進のための広報活動の実施

SNS（Instagram（インスタグラム）、Facebook（フェイスブック））でのシルボヌ（女性会員）の募集及び活動状況の紹介

- ③ 福岡県高齢者子育て支援推進事業による普及啓発活動を推進した。
  - ・「福岡県生涯現役チャレンジセンター」と連携し、シルバー事業及び「福岡県高齢者子育て支援推進事業」（県からの受託事業）を幅広い層へ広報し、ボランティア活動や就職及び就業等社会参加の場を開拓した。
  - ・子育てマイスター認定研修会開催案内等のチラシの作成・配布  
チラシ5,000部を作成・配布
  - ・関係機関を訪問し子育てマイスター事業の周知・広報を行った。
- ④ 高齢者活躍人材確保育成事業による普及啓発活動の実施
  - ・会員拡大や就業機会の開拓のためリーフレット・チラシの作成・配布及び新聞、テレビ等による広報を実施した。

※詳しくは、「7 研修・講習等事業」に記載
- ⑤ 公益活動に係る寄附金募集の啓発を行った。

## (2) 社会参加活動の推進

- ① 各地域でのボランティア活動を推進した。
- ② 子育てマイスターのグループ化を促進し、会員や子育てマイスターの知恵と経験を生かした子育て支援活動を推進した。
- ③ 子育てマイスターの更なる活躍を目指し、活動先の開拓やマッチングの強化を図った。
- ④ 各自治体及び地域高齢者団体等が行うセミナーや講習・研修会などを情報提供し、地域で取組む社会参加活動を支援した。

## (3) 地域交流活動

- ① 市町村、社会福祉協議会、ファミリーサポートセンター、保育所、NPO等と連携を図り県内全地域へ交流活動の輪を広げた。
- ② 県内の商工会議所等の経済団体や連合福岡等の労働団体と連携を深め、就業の場の拡大や会員拡大を図った。

## (4) 独自事業

センター事業の活性化を目指し、会員の豊富な経験・知識を活用し、地域の特性を生かした事業の創出を支援した。

- ① 実施センターへの助言・相談等の支援
- ② 他都道府県のセンターの独自事業について情報の収集・提供
- ③ 県内センターが実施している地域の特性を活かした事業の紹介

## 2 安全・適正就業推進事業

### (1) 安全就業の周知・徹底

「安全は全てに優先する」との理念のもと就業会員の安全意識の高揚を図り、事故のない安全な就業の徹底を目指し、現場パトロール等を強化した。

- ① 安全・適正就業対策委員会の開催（年間3回）
  - ・安全就業基本計画、年間実施計画の策定、事故分析、改善策の検討

4月21日(木) 第1回開催	県中小企業振興センター
10月21日(金) 第2回開催	〃
3月15日(水) 第3回開催	〃

② 安全・適正就業パトロールの実施、改善指導

- ・計画的なセンター訪問によるパトロール活動の実施 (年間8回)

月 日	センター名
7月20日(水)	粕屋町SC
7月27日(水)	築上町SC
8月 3日(水)	飯塚市SC
8月24日(水)	みやま市SC
8月31日(水)	太宰府市SC
9月14日(水)	中間市SC
9月21日(水)	宗像市SC
9月28日(水)	大川市SC

- ・安全・適正就業対策委員会による就業現場抜打ちパトロールの実施 (適時)
- ・重大事故発生時の緊急パトロール、現場検証の実施 (発生時、適時)

月 日	センター及び内容
10月17日(月)	福岡市SC事故調査
11月24日(木)	福岡市SC事故調査結果報告及び意見書提出
12月 9日(金)	春日市SC及び志免町事故調査
2月 1日(水)	春日市SC事故調査

③ 安全就業促進大会の開催 (年間1回)

11月29日(火) 福岡東市民センター なみきホール 235人参加

(2) 適正就業の徹底

① 安全・適正就業推進員研修会 (年間1回)

2月22日(水) 県中小企業振興センター 51人参加

② 適正就業の相談、助言、指導 (適時実施)

- ・来訪、個別訪問、電話等による相談・助言、指導の実施

③ 県内各ブロックの安全・適正就業に関する研修・講習等の支援

- ・各ブロックの要請に基づき、研修、講習会等を支援する。

チェーンソー研修会開催

2月22日(水) 県中小企業振興センター 74人参加

(オンライン同時配信) 57人参加

3 シルバー派遣事業の実施

事業実績 (4月～3月末)

就業実人員	就業延人員	契約金額
3,152人	281,762人日	1,377,098,082円

(1) シルバー派遣事業に関する情報の収集及びセンターへの提供

① 全シ協等が実施する派遣元責任者講習の受講促進 (年間1回)

12月 2日（金） 県中小企業振興センター 県内から41人参加

② 労働局等主催の会議・研修等の情報の収集・提供

(2) シルバー派遣事業運営体制の充実・強化

① 実施事務所（センター）が行う業務に関する支援

・実施事務所（センター）に対する指導・相談の実施

② 実施事務所（センター）との連携体制の強化

・派遣事業実務担当者会議 (年間2回)

3月14日（火） 県中小企業振興センター

午前 27人参加

午後 25人参加

(3) 法第39条に基づく業務拡大の促進

法第39条に基づく業務拡大について事務局長会議等を通じ周知した。

(4) シルバー人材センター介護プランナーの配置とトライアル就業

介護プランナーの配置（既存職員での対応も可）とトライアル就業の実施を推進した。

(5) 産業保健活動（安全衛生・健康管理）等の対策

労働安全衛生法に基づき労働安全衛生体制の充実・強化

・派遣会員が常時50人以上の実施事務所（センター）における衛生管理者、産業医の配置及び衛生委員会の設置を順次、進めた。

・産業医の配置と衛生委員会の開催

① 福岡市・北九州市 毎月開催

② 宗像市・福津市合同の衛生委員会設置

福津市（9月開始）、宗像市（10月開始）

#### 4 職業紹介事業の実施

事業実績（4月～3月末）

常用就職件数	臨時就職件数	日雇就職延数	就業実人員	契約金額
6件	0人日	0人日	6人	188,780円

（実施事務所：福岡市、春日市、大木町）

(1) 有料職業紹介事業に関する情報の収集及びセンターへの提供

① 全シ協等が実施する有料職業紹介責任者講習の受講促進 (年間1回)

10月14日（金） 県中小企業振興センター 県内から24人参加

② 労働局等主催の会議・研修等の情報の収集・提供

(2) 有料職業紹介事業の運営体制の充実・強化

センターに対する指導・相談の実施

#### 5 指導・相談事業

(1) 指導・相談業務の実施

事業運営上の諸課題、適正な会計処理等について指導・助言等を行った。

① センター事業の実施状況等に関する情報収集と必要な助言の実施

② 公認会計士・弁護士・社会保険労務士と顧問契約を締結し、専門家による助言が受

けられるようにした。

- ③ 全シ協からの通知に基づき福岡労働局・福岡県・連合会（顧問公認会計士による指導を含む。）合同で会計及び業務に関し指導・相談を実施した。（原則3年に1回）

月 日	センター名	場 所
9月13日（火）	篠栗町SC	センター会議室
9月15日（木）	粕屋町SC	センター会議室
10月24日（月）	大野城市SC	センター会議室
10月28日（金）	久留米市SC	センター会議室
11月 4日（金）	行橋市SC	行橋商工会議所
11月15日（火）	中間市SC	センター会議室
11月18日（金）	福岡市SC	センター会議室
12月13日（火）	柳川市SC	センター会議室
12月15日（木）	須恵町SC	センター会議室
12月20日（火）	春日市SC	センター会議室
1月11日（水）	筑後市SC	センター会議室
1月13日（金）	那珂川市SC	センター会議室
1月17日（火）	古賀市SC	センター会議室
2月 7日（火）	新宮町SC	センター会議室
2月15日（水）	岡垣町SC	センター会議室
2月17日（金）	直方市SC	センター会議室

(2) 就業相談及び入会説明会への支援

- ① センター会員及び一般高齢者を対象に来訪や電話等による就業、就職及び社会参加活動等に関する随時相談を実施した。
- ② 「福岡県生涯現役チャレンジセンター」内に「センター相談窓口」及び「ふくおか子育てマイスター相談窓口」を設置、雇用・就業相談員及び子育てマイスター活動支援員を配置し、来訪者及び電話等での相談に対応、研修会の案内、受講申込み説明、受付等を行った。

(3) 各地域(ブロック)への情報の提供及び相談・指導

県内各ブロック協議会が行う研修活動経費の支援を行うとともに、研修講師等として連合会職員の派遣を行った。

・県内4ブロック協議会の研修活動等に対する支援と連合会職員の派遣

月 日	研 修 名	場 所	参加人数
11月16日（水）	筑紫・糸島地区福祉・家事援助サービス会員研修会	大野城市高齢者生きがい創造センター	21人
12月 9日（金）	筑紫・糸島地区職員研修（経理関係）	大野城市高齢者生きがい創造センター	11人
12月16日（金）	京築地区経理担当職員研修会	リブリオ行橋	7人
1月 6日（金）	筑豊ブロック経理担当職員研修会	宮若・小竹SC	7人
2月14日（火）	筑後ブロック業務担当職員研修会	大川市大川勤労者総合福祉センター	23人
3月 6日（月）	筑後ブロック会計担当職員研修会	うきは市総合福祉センター	19人

## 6 未設置町村へのセンター設置の推進

センター未設置の町村に対して高齢者の就業活動促進のため、センターの設置を働きかけた。

[未設置町村（宇美町、芦屋町、水巻町、鞍手町、東峰村、吉富町）]

対象町村に対し、現状や今後の対応に関する電話調査を実施

3月31日（金）に芦屋町を訪問し、設置の働きかけを行った。

## 7 研修・講習等事業

### (1) セミナー・就業体験・技能講習等事業

厚生労働省の委託事業である「高齢者活躍人材確保育成事業」を受託し、①高齢者や企業に対して、センターの積極的な周知・広報を行うとともに、②就業体験を通じて高齢者、企業双方のセンターに対する理解を深めることや、③高齢者がセンターに興味を持ち自信を持って就業できるよう必要な技能講習を行うことにより、センターの会員拡大及び新たにセンターを活用する企業等の増加を図る。

#### (ア) 事前会議の実施

事業の趣旨や事業の目的等を説明するため、センターの担当職員を対象にした事業説明会をオンラインで開催した。

#### (イ) シルバー事業説明会、就業体験、技能講習に関する周知・広報

自治体広報誌、新聞、生活情報誌、セミナー・シンポジウム等による周知・広報を実施した。

##### ① 新聞、雑誌による周知広報

読売新聞、西日本新聞、朝日新聞、毎日新聞（開催広告74回掲載）

生活情報誌・新聞折込（開催広告11回掲載）

##### ② 自治体の広報紙による周知・広報

技能講習会、就業体験、セミナーの開催について市町村広報誌に掲載（開催案内54回掲載）

#### (ウ) 説明会

・高齢者向けセミナー（シニア女性応援セミナー）（2回）

月 日	場 所	参加人数
10月21日（金）	ウェルとばた（北九州市戸畑区）	163人
11月17日（木）	久留米リサーチパーク（久留米市）	151人

・企業向けセミナー（シニア人材活用セミナー）（1回）

月 日	場 所	参加企業・人数
10月27日（木）	豊前市立図書館（豊前市）	20社23人

#### (エ) 就業体験（定員15人程度：計7回 90人）

・高齢者向け：障子網戸張替、襖網戸張替、季節のリース作り、刃物研ぎ（4回）

・企業向け：ガーデニング、七尾製菓見学、農業体験（3回）

#### (オ) 技能講習

・講習科目（9科目）

介護・家事援助、刈払機、子育て支援、スマートフォン活用、整理収納アドバイス

- ザー、剪定・チェーンソー、調理補助、ハウスクリーニング、マンション管理
- ・講習回数 (計31回)
- ・講習定員 (15人程度) (計450人)

講習名	予定回数 (回)	開催数 (回)	受講者数 (人)	新規入会者数 (人)
介護・家事援助	3	3	40	12
刈払機	8	8	109	14
子育て支援	2	2	24	3
スマートフォン活用	2	2	23	3
整理収納アドバイザー2級認定	4	4	60	12
剪定・チェーンソー	5	5	70	8
調理補助	3	3	27	4
ハウスクリーニング	2	2	27	5
マンション管理	2	2	36	11
合計	31	31	416	72

## (2) 研修・講習事業

(ア) センター役職員や実務担当職員を対象に、適正なシルバー事業の実施について情報を提供するとともに、会員の就業機会拡大、職員の資質向上を目指して研修・講習会を実施した。

### ① 役職員研修会 (年間1回)

※定時総会後に開催、オンライン同時配信

月 日	講演テーマ	場所・参加人数
6月17日(木)	「攻めの広報、空き家対策事業を活用した就業先開拓等について」	県中小企業振興センター 会場75人 オンライン36人

### ② 理事長研修会 (年間1回)

月 日	講演テーマ	場所・参加人数
11月 2日(水)	1「シルバー人材センターの今後の改題～インボイス制度対応、新規補助事業の取組～」 2「地域社会における認知症支援～地域で、職場で、家庭で～」	JR博多シティ 34人

### ③ 監事研修会 (年間1回)

月 日	講演テーマ	場所・参加人数
12月 6日(火)	「センターでの不正対応」	県中小企業振興センター 40人

### ④ 職員研修会 (年間2回)

月 日	研修名	場所・参加人数
9月 6日(火)	会員拡大担当者研修会 (オンライン同時配信)	県中小企業振興センター 会場17人 オンライン73人

10月20日(木)	派遣事業新任者研修会	県中小企業振興センター 16人
3月9日(木)	業務担当職員研修会	県中小企業振興センター 55人

(イ) 県から「福岡県高齢者子育て支援推進事業(ふくおか子育てマイスター事業)」を受託し、地域高齢者の子育て支援活動の推進およびセンター事業の活性化を図った。

① 子育てマイスター認定研修等の実施

- ・ふくおか子育てマイスター認定研修会(年間4回)

地域	場所	実施期間	修了者数
久留米	久留米シティプラザ	9月1日～9月29日 (うち7日間)	10人
福岡	ふくふくプラザ	10月4日～10月31日 (うち7日間)	48人
北九州	八幡西生涯学習総合センター折尾分館	11月10日～11月25日 (うち7日間)	18人
飯塚	イイズカコミュニティセンター	11月30日～12月20日 (うち7日間)	9人

- ・フォローアップ研修会(年間5回)

	講演テーマ	開催地	月日 (参加者数)
第1回	「絵本のチカラ～読み聞かせて広がる世界～」	春日市	1月17日(火) 52人
第2回	「わらべうたで遊ぼう」	飯塚市	1月20日(金) 36人
第3回	「発達障がいへの理解」	久留米市	1月24日(火) 22人
第4回	「子育て支援者のためのコーディネーター講座」	福岡市	1月31日(火) 44人
第5回	「学童保育補助のススメ～学童ってなんだろう～」	北九州市	2月3日(金) 22人

② 担当職員研修会の開催(年間1回)

子育て・福祉・家事援助サービス事業担当職員研修会

12月14日(水) 県中小企業振興センター 35人参加

③ 会員研修会の開催(年間1回)

会員対象 子育て・福祉・家事援助サービス研修会

(シルボンヌ福岡県大会と併せて開催)

1月26日(木) JR九州ホール

## 8 調査研究等事業

(1) 会員拡大・就業機会開拓に関する取組み

① 会員拡大・就業機会開拓に関する担当者会議の開催(年2回)

- ・センターにおける会員拡大・就業機会開拓に関する担当者の設置

- ・センターの担当者を対象にした会議の開催
- ② 女性会員（シルボンヌ）拡大に関する委員会の開催（年3回）
  - ・委員10人（ブロック推薦4人、連合会推薦4人、連合会事務局2人）
  - ・協議内容等

月 日	場 所	協議内容
第1回 8月30日（火）	県中小企業振興センター	委嘱状交付、女性会員リーダー育成、シルボンヌ福岡県大会 等
連絡会議 11月 9日（水）	オンライン会議	シルボンヌ福岡県大会内容、広報、会員リーダー研修 等
第2回 12月 8日（木）	県中小企業振興センター	シルボンヌ福岡県大会の内容、広報、会員リーダー研修内容 等
第3回 3月28日（火）	県中小企業振興センター	今年度実施事業の総括、来年度の取組みの検討 等

③ 女性会員、役職員を主な対象とした会議（研修）又はイベント等の開催

- ・シルボンヌ福岡県大会
  - 1月26日（木）JR九州ホール 207人参加
- ・女性会員リーダー研修
  - 2月21日（木）県中小企業振興センター 会員35人・職員20人参加

(2) 高齢者活躍人材確保育成事業におけるアンケートの実施

高齢者活躍人材確保育成事業で実施する企業向けシンポジウムや就業体験等において参加企業や参加者に対しアンケート調査を行った。また、結果を集計・分析し、会員拡大、就業機会開拓等に活用するとともにセンターに対しても情報提供を行った。

(3) 高齢者の雇用・就業等情報の収集・分析及び提供

- ① 福岡労働局職業安定部職業対策課、ハローワーク及び県主管課等と連携し、求人情報の収集・分析を行い、センター及び関係機関へ情報提供を行った。
- ② 80歳を超えても活躍できる就業環境等の創出の検討を行った。

(4) 業務年報の作成及び月次統計の集計・分析、結果の情報提供

シルバー事業の総括及び県内の人口構造及び高齢者の状況や会員の状況・受注件数・事業実績等について調査、集計し業務年報を作成、各自治体及び関係機関・団体等へ配布した。

300部作成・配布（11月）

(5) 子育てマイスターの活動調査の実施、結果分析、評価、事業効果の検証

- ① 子育てマイスター新認定者に対するアンケート調査の実施
- ② 子育てマイスターに対する活動状況調査の実施

(6) シルバー事業におけるデジタル化の推進

ZOOMを活用したオンライン会議や研修のセンターへの同時配信を積極的に行うとともに、デジタル化による業務の効率化の検討を行った。